



# 松本 誠

まつもと まこと



現職	市民まちづくり研究所所長 関西学院大学、桃山学院大学、神戸学院大学の各非常勤講師。 兵庫県震災復興誌編集委員。 兵庫県武庫川流域委員会委員長。明石まちづくり研究所代表幹事。 集合住宅維持管理機構理事。自治・分権ジャーナリスト関西の会事務局長。
略歴	関西学院大学法学部卒業 神戸新聞社編集局社会部、経済部、大阪支社、明石総局の各記者、編集局調査部次長、情報科学研究所研究調査部長、同副所長、編集局調査研究資料室長を経て2003年退社。兵庫県被災者復興支援会議メンバー。
専門分野	住宅主体のまちづくり、地域経済、マンション管理と地域コミュニティ、地域環境問題、地域商業と商店街活性化、地方分権と地域内分権、地方議会の改革、市町村合併問題、新聞とジャーナリズム論
著書・論文等	単著・編著 / 「市民が変える明石のまち」(文理閣、2003年)「分権・合併最前線～自治体の現場から」(文理閣、2002年)「21世紀社会の構図」(文理閣、2001年)「新しい市民社会実現への道」(わくわく神戸市民公開講座実行委員会、2001年) 共著 / 「住民主体への挑戦」(エピック、1997年)、「阪神大震災 市民がつくる復興計画」(神戸新聞総合出版センター、1998年)、「転換期の地域づくり」(ナカニシヤ出版、1999年)、「自治体倒産」(日本評論社、1999年)、「分権型社会を創る 第12巻」(ぎょうせい、2000年)「この国のかたちが変わる」(日本評論社、2002年)「これでいいのか平成の大合併」(コモンズ、2003年)「阪神・淡路大震災10年 新しい市民社会のために」(岩波新書、2004年) 論文 / 「『兵庫の住み良さ指標』を求めて」(神戸新聞情報科学研究所・兵庫地域研究創刊号、1994年)、「住民参加のまちづくりの系譜と展開～神戸、豊中、国分寺3市の比較研究」(同4号、1996年)、「震災復興まちづくり支援活動の実態調査～社会システムの構築をめざして」(同5号、1996年)、「川を生かしたまちづくりの課題～千種川流域連携の可能性をさぐる」(同6号、1996年)、「新選挙制度と地域の反応に関する考察～96年10月衆院選の若干の分析から」(同7号、1997年)、「市民活動の社会的支援に関する一考察～兵庫・市民人」調査にみる兵庫の現状と課題」(同9号、1997年)、「明石海峡大橋開通に伴う地域への影響～社会・経済的インパクトと課題」(同11号、1998年)、「98衆院選挙の検証～新しい政治参加を求めて」(同13号、1998年)、「"踊り場"から探る復興5年目の課題」(同15号、1999年)、「震災報道の"温度差"を見る～全国4紙の東西版紙面比較調査から」(同16号、1999年)、「多紀郡合併の軌跡と課題」(同18号、1999年)、「"震災5年検証"を検証する～後期復興への課題」(同20号、2000年)、「2000年衆院選にみる変化の兆し」(同21号、2000年)、「震災から芽生えた『新しい住まい方』の思潮」(同23号、2001年)、「住民主体のまちづくりにおける『協働』の条件」(マッセ大阪研究紀要第3号、2000年)、「担い手の復興～市民主導社会への胎動」(阪神・淡路大震災復興誌第4巻、2000年)、「担い手の復興～中間支援組織と『協働』の模索」(同第5巻)
その他活動	明石まちづくり市民塾運営委員。明石を変える市民の会代表。NPOひまわり会副代表。明石大蔵海岸花火事件を考える市民の会世話人。市民社会推進機構幹事。CODE海外災害援助市民センター理事。ローカル・マニフェスト推進ネットワーク関西運営委員。その他講演、コーディネーター、雑誌執筆等多数。

2005年6月26日現在

連絡先

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所  
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1番6号  
Tel (078) 230-8511 Fax (078)230-8512  
URL : <http://www.netkobe.gr.jp/machiken/>  
e-mail : LET07723@nifty.ne.jp